

PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12ヵ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 • PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。



アンカーストラップ

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に対して生じた特殊な状況を記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)



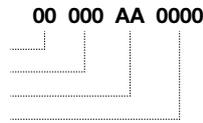
2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は 2 種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

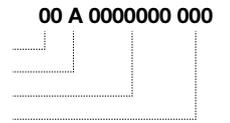
コード A:

製造年
製造日
検査担当
識別番号



コード B:

製造年
製造月
ロット番号
識別番号

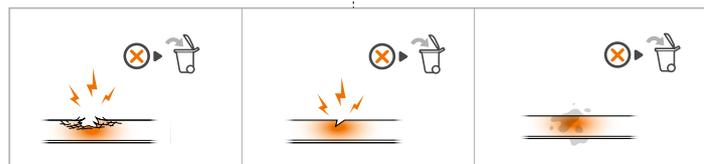
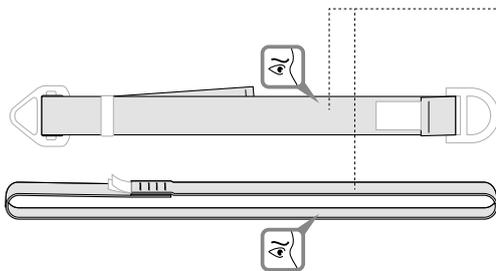


耐用年数を超過していないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

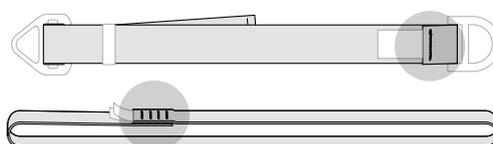
3. ストラップの状態の確認

- ストラップの状態を全長にわたって確認してください: 使用、熱、化学物質との接触等による切れ目や摩耗、損傷がないことを確認してください。切れている繊維がないことを特に注意して確認してください。



etc...

- 安全に関わる縫製の状態を両面について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。

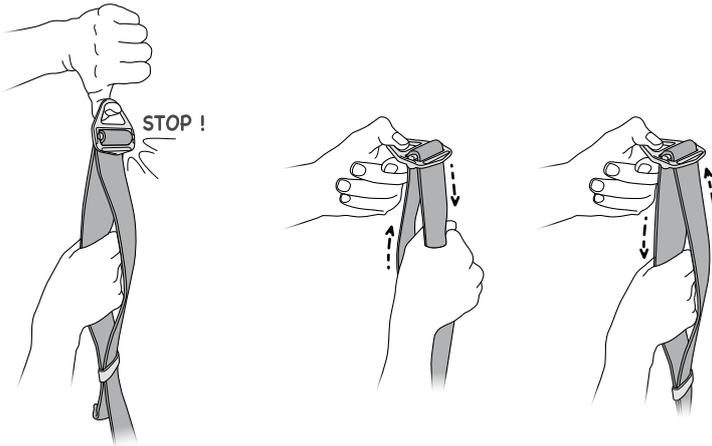


4. アタッチメントポイントおよび調節バックルの点検 (モデルによって異なる)

- アタッチメントポイントおよび調節バックルの状態を確認してください (傷、ひび、摩耗、変形、腐食等)



- 調節バックルが正常に機能することを確認して下さい。



5. 補足情報: 過度に摩耗するなどして廃棄が必要なストラップの例

• ウェビングのほつれ



• ウェビングのほつれ



• 縫製糸の切断



• ウェビングのほつれ



• ウェビングのほつれ



• 柔らかい箇所



• 柔らかい箇所

